

ひきこもり家族自助会とやま大地の会(設立 2001 年 3 月)

振込先 北陸労働金庫 富山南支店 普通 3414428 とやま大地の会

♪♪ 例会のおしらせ ♪♪



例会は、ミニ講演やグループでの分かち合いの場です。また個別相談会(希望者)も行っています。新型コロナ対策のため、実施について変更可能性もありますので、参加を希望される方は、本会のホームページでの確認をお願いします。

06 月 24 日(第 4 土曜日) 第 268 回例会 13:30 富山市安住町サンシップとやま 701 号室
※6 月例会は従来の第 3 週の土曜日と違い、第 4 週土曜日の 24 日 13:30 から行います。
07 月 15 日(第 3 土曜日) 第 269 回例会 13:30 富山市安住町サンシップとやま 701 号室
08 月 19 日(第 3 土曜日) 第 270 回例会 13:30 富山市安住町サンシップとやま 701 号室
09 月 16 日(第 3 土曜日) 第 271 回例会 13:30 富山市安住町サンシップとやま 501 号室

会費 正会員の 2021 年度からの年会費は 2,000 円。例会参加費無料。(振込料は各自負担です。) 非会員の方の、2021 年度からの例会参加費 200 円です。

サンシップでは駐車券を 2 階事務所にし、「大地の会」とおっしゃってください。無料になります。

サンフォルテでは駐車券を 1 階受付にし、「大地の会」とおっしゃってください。1 時間無料になります。

◎富山県ひきこもり地域支援センター、最寄りの厚生センター、保健所で相談をしましょう。適切な支援に繋がるよう力を借ります。

◎支援センターに希望すること、親に出来ることを常時募集しています。

◎ご相談があれば、大地の会のホームページからお問い合わせ下さい。

「とやま大地の会」のホームページですが、下記 URL で開設しています。ご覧ください。

<http://toyamadaichinokai.com/>



本会の各事業は、富山県、赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。

♪ 5 月例会報告 ♪

日 時: 5 月 20 (土) 13:30~15:50 サンシップとやま 601 号室

参加者: 21 名(男性 8 名{内体験者 2 名}、女性 13 名{内体験者 1 名})のご参加がありました。

例会が始まる前には、保科さんのハーモニカ演奏にあわせ、『バラが咲いた』・『雨降りお月さん』・『茶摘み』を歌いました。

I 運営委員会より

運営委員の S さんが、今年の 3 月に公表された調査結果の概要をまとめられ、『国の「ひきこもり」の全国調査の結果について』を作成・持参されました。[安心できる今の居場所について]では、“引きこもり状態の人は家庭や学校、それに職場などのリアルな場比べ、SNS などのインターネット空間を居場所と捉える割合が高くなっていて”と指摘されています。膨大な調査報告を 4 頁にまとめられた貴重な資料、ありがとうございました。

II いつもの話し合い

前半は全体で近況交流をしました

- ・久しぶりに参加しました。子は学生時代から不調になり、障害者手帳を持ちました。80-50 が心配になり相談に行きました。
- ・兄弟がひきこもっている。何度か話し合ったが、だんだん関係が悪くなってきた。

- ・心の中では子の就職にほっとしている。子には、“親は外出したほうが良い”と言われる。
- ・先月、関西で開催された 80・50 問題の交流会に参加しました。
- ・(経験者) 障害福祉サービスの事業所へ通所していたが、通所できなくなってきた。いつか、一人暮らしをしてみたい。
- ・不登校、ひきこもりが増えている。世の中の仕組みがおかしくなっているのではないか。福祉関係の制度も市町村により違っている。
- ・子は 20 代後半。高校卒業後、家にいる。10 年近く外へ出ることができなかった。最近は、少し和やかになり、外仕事など家の手伝いをするようになった。
- ・公的支援の担当者が 1 年で代わってしまい、伴走型になっていない。
- ・子は 40 代半ばになった。本人もつらかったと思う。元気にはしているが、時々、調子の悪い時もある。どうしたらいいのかな。
- ・(経験者) 80・50 の話については、親の介護などできることを増やしていきたい。体が動かないこともあるが、どこかにつながっていれば何とかやっていけると思う。

全体での近況交流に引き続き、3 班に分けていつもの話し合いをしました。一部を紹介します。

A 班 (6 名)、B 班 (9 名)



- ・「ひきこもり」に悩む家族や当事者が相談に行ける場所があったら良いと思います。
- ・「ひきこもり」の問題は、個別の問題への対応では成り立たなくなっていると思う。広い視野でとらえ、社会全体で対策・対応を声を出して要望する時期にきているように感じる。80・50 問題は、特殊な問題ではないと思う。
- ・わが家では 2 人の子が「ひきこもり」になった。相談に行った先での対応が「ぐさっと」きた。精神科の医師にも診てもらえず、つらい思いをした。県心の健康センターで相談した、H 先生が心の支えだった。
- ・相談したかったが、地元の人や親せきには話題にしたくなかった。

C 班 (6 名) 8050 を考える

- ・先ほどの全体会で元当事者から発言があったように、子は親が亡くなった後だけではなく、亡くなる前の過程、親が認知症の場合など、そのことを心配している。
- ・8050 の件、どんな事でも対応出来るようにしておく事が大事。スジ書きどおりになる訳ではなく、どういう状況になっても子が生きていけるよう、日々考えている。
- ・具体的に何かという取りこし苦勞になる。急に想定しても不安をあおるだけ。
- ・親の延命措置はしないでなど、親が元気なうちにメモにし、子に伝えている。
- ・自分の葬儀の写真も準備しています。その事で子との会話が増えました。
- ・父子、最近仲が良くなった。息子に厳しかった父が、最近は息子の好きな食べ物を作ってやれという。
- ・私(母)は、自分が病気になったら延命措置不要という書類を作り、財布に入れてあります。
- ・土地などの手続きにミスがあったまま子に残したら、相続手続きが大変になります。
- ・親が高齢でひきこもりの子の世話ができなくなってきました。私(姉)はひきこもりの弟とは会話も何も出来ない状態です。どうしたら良いか。
 - ⇒ 具体的に何をではなく、弟に対して優しい気持ちになって接してみたら。ひきこもりの子は、優しい気持ちがあると分かります。
- ・仲が悪かった姉とひきこもりだった弟が、最近仲良くなって来ました。その理由は、姉の子を弟が優しく面倒をみているからです。

III その他

- 1 例会では、なかなか十分に自分の話が出来ない。言い足りないことなど日常のあゆみなど体験発表をしてみませんか? 約 20 分間程度を予定しています。
- 2 投稿欄について
会員の皆様から、“ひきこもりの理解”に関する本の紹介や講演の感想等、募集しています。

富山県ひきこもり地域支援センター からのお知らせ

相談時間：月曜日～金曜日 8:30～12:00、13:00～17:00（要予約）

グループ相談を実施しています。

- ・本人グループ 毎週火曜日 10:00～12:00
- ・親グループ 毎月第2木曜日 14:00～16:00

まずはお電話でご相談ください。電話：076-428-0616

場所：富山県心の健康センター内 〒939-8222 富山市蜷川 459-1

IV 高岡つくしの会より（2003年設立）

市内2ヵ所で開催し、今はコロナ感染予防を徹底の上、主に話し合い中心の月例会と定例会を行っています。気候やコロナ関係などで、予定変更の場合もありますが、ご了承下さい。

月例会 6月11日(日) 時間 13:30～

場所 高岡市立博労公民館

おとぎの森定例会 6月14日(水)、6月24日(土) 時間 14:00～16:00 場所 高岡市おとぎの森ふれあい館

おとぎの森のばら園が見頃になりました。

花見がてらお喋りを楽しみに来訪してみてください。勉強会などはありません(笑)

V 書籍他の紹介

石川良子著『「ひきこもり」から考える「聴く」から始める支援論』

ちくま新書 2021



・〈動けなさ〉を語る難しさ（55頁～）

経験者の方と話す機会がありました。その折に、「しんどい時は動くことができないんです」と話されました。私にはなかった経験なので、言葉ではわかったつもりでも、〈動けなさ〉を理解できていないと感じています。

少しでも理解したいと、「・・・二〇年以上にわたって当事者の傍らに居続けた者として、かれらとの付き合いで学んだことを聞いてもらいたい、・・・」と〈おわりに〉で書いている石川さん（社会学者）の著書を再び手にしています。（やま）